

トーハク バード

親と子のギャラリー
Family Gallery

ウォッチング

キジやクジャク、鳳凰が勢ぞろい

東京国立博物館 平成館企画展示室 平成29年4月25日(火)～6月4日(日)

So Many Roosters and Birds in One Place!

Heiseikan Thematic Exhibition Room, Tokyo National Museum April 25 – June 4, 2017



今年の干支は酉です。そこで、日本の国鳥「キジ」に注目し、キジ科の鳥をテーマに作品を集めました。キジ科の鳥にはキジのほかにニワトリ、ウズラ、ヤマドリ、ライチョウ、シチメンチョウ、クジャクなどがあります。

今回、「キジとその仲間たち」「クジャク」、そしてキジ科の鳥がモデルといわれる「鳳凰」の三つのコーナーをもうけました。

トーハク（東京国立博物館）の鳥たちは、近くによっても逃げたりついたりしません。じっくりゆっくりバードウォッチングをお楽しみください。

This thematic exhibition on the pheasant family of birds is organized jointly by three institutions in Ueno Park: Tokyo National Museum, the National Museum of Nature and Science, and the Ueno Zoological Gardens.

Images of the pheasant family of birds – peacocks in particular – were introduced to Japan from India. Moreover, Chinese phoenixes, which are imaginary creatures, are thought to have been created based on these kind of birds. We invite you to experience some unusual “bird watching” in our gallery.

キジとその仲間たち

キジ、ウズラ、ニワトリ、ライチョウは古くから日本人と深くかかわってきました。

たとえば、ニワトリの場合、1500年前の古墳からニワトリ形の埴輪が出土しています。またキジやウズラは1000年以上前に記された『古事記』や『日本書紀』に登場し、ライチョウは鎌倉時代、後鳥羽院が和歌に詠んでいます。



The Pheasant Family of Birds

Pheasants are characterized by a body that is thicker around the middle and sturdy legs suitable for walking. The male is larger than the female and has long, beautiful tail feathers and other decorative feathers. The cries of the pheasant, chicken, and quail are featured in certain Japanese proverbs.



軍鶏の水入れ

6 軍鶏水滴

Water Dropper, Gamecock design

足の爪がすどく、首と足が長いシャモの特徴が表わされています。



火除けの鳥

9 松に雷鳥

Ptarmigans with Pine

高山に暮らすライチョウは雷除けの鳥、転じて火除けの鳥と信じられていました。江戸時代になると、人びとはこの絵をしばしば家の中に貼っていました。ただライチョウの姿は実際とかなり異なります。



つがいのキジ

1 色絵雉置物

Pheasants, Detail in overglaze enamel

夫婦で餌をついばんでいるとき、オスがふと背後を見た一瞬をとらえています。ずっと上に伸びた尾がオスの緊張感を表わしています。

クジャク

キジ科の鳥の中でもひとときわ美しい羽を持つクジャクは、その美しさのため権力者への贈り物になりました。南アジアや東南アジア原産のクジャクが日本にはじめてやってきたのは6世紀の終わりのこと。朝鮮半島の新羅から日本の天皇へ贈られました。またクジャクは美しい鳥の代表として多くの美術品のモチーフになってきました。仏さまを描いた絵の中に、陶磁器のお香入れに、そして刺繍にと、いろいろなクジャクを見ることができます。

Peacocks

The first images of lovely peacocks, with their beautiful, vividly colorful feathers, were brought to Japan via the Korean peninsula in the late 6th century. From then on, these images were widely used as motifs for buildings and artworks.

クジャクに乗った仏さま

13 孔雀明王像 (模本)

Kujaku Myo'o (Mahamayuri)(Copy)

クジャクはとても美しい声で鳴き、毒がある草や虫を食べると信じられてきたことから、仏教では孔雀明王が災いや苦しみを取り除く仏さまの一つとして信仰を集めてきました。



シルクロードを通して 伝えられたクジャクの模様

19 孔雀模様装飾断片

Fragment of Ornament, Peacock motif

細かい土に石灰を混ぜた漆喰でできています。シルクロードのオアシス都市国家ホータンの遺跡から見つかりました。砂漠の中の王国にまでクジャクのイメージが伝わっていたことがわかります。

鳳凰

空想上の鳥、鳳凰はキジ科の鳥がモデルといわれています。頭の上のトサカ、くちばし、足、そして長い尾羽が、ニワトリやクジャク、セイランに似ています。古代中国で鳳凰(朱雀)は青龍、白虎、玄武とともに東西南北をつかさどる霊獣、四神の一つです。やがて鳳凰のイメージは東アジア各地に広まっていきました。そのため時代や国によっても鳳凰の表現はさまざまです。

Phoenixes

These mythical birds are of ancient origin. Representations of birds resembling phoenixes have been found on ceramics unearthed at Chinese archeological sites from 7,000 years ago. The ancient Chinese considered the phoenix to be one of four divine creatures, the others being the dragon, the tiger, and the tortoise, and they portrayed it as having many of the characteristics of a pheasant, including the comb on its head, the shapes of its beak and legs, and its long tail feathers.

仏さまの世界の鳳凰

30 鳳凰刺繍断片

Fragment of Embroidery, Phoenix motif

仏教では、汚い泥の中から美しく咲く蓮の花が仏さまの知恵や優しい心の象徴とされました。この作品は両面に刺繍がほどこされているため、裏からでも表からでも同じ鳳凰を見ることができます。

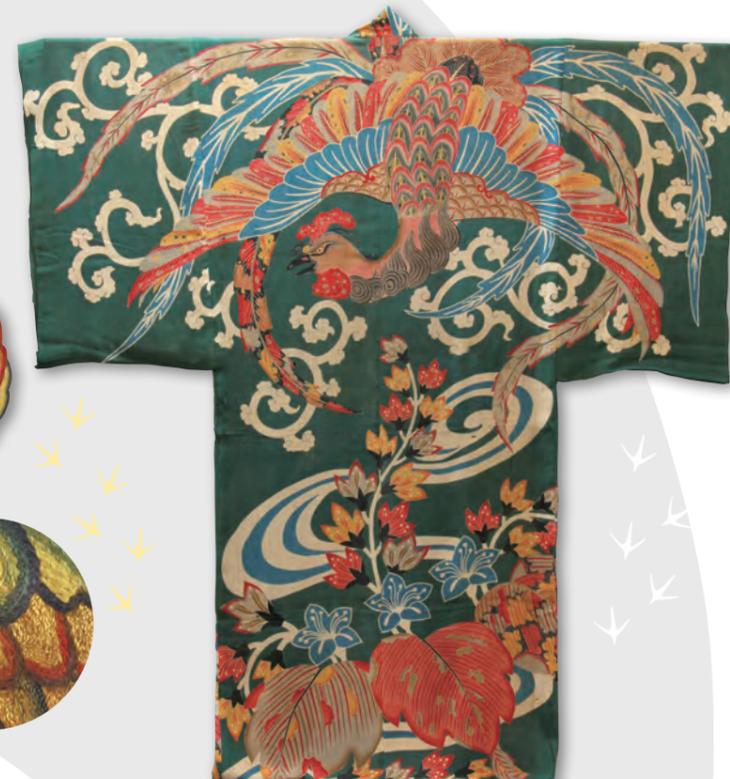


およそ150年前の 鳥図鑑に描かれたセイラン

26 博物館禽譜

Museum's Albums of Birds

セイランは青鸞と書きます。鳳凰によく似た空想上の鳥「鸞」に由来しています。やがてセイランは鳳凰のモデルになった鳥ともいわれるようになりました。



布団の図柄になった鳳凰と桐

24 夜着 萌黄縮緬地鳳凰桐模様

Yogi Bedspread, Phoenix and paulownia design on yellowish-green chirimen crepe ground

もともとは木綿が中に入っていて、寝るときに布団のようにかけて使ったものです。鳳凰と桐の図柄はおめでたいシンボルとして広く日常品にも使われました。



権力の象徴として用いられた鳳凰

27 単鳳環頭柄頭

Ring-shaped Pommel, Phoenix design

環頭柄頭は刀の持ち手に付ける飾りです。飾りの付いた刀は権力者が力を示すために持っていたといわれています。鳳凰は優れた王のもとに現れると信じられていました。

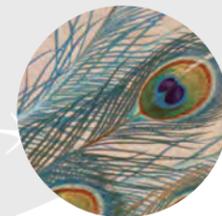


海外で高く評価された 刺繍のクジャク

16 刺繍孔雀図屏風

Peacocks, Embroidery on screen

クジャクは欧米人にもエキゾチックな鳥として人気でした。明治時代、刺繍でクジャクを本物そっくり表現した刺繍屏風が作られ、海外向けに輸出されました。



作品リスト

通番	名称	作者・製作地・出土等	材質・技法等	時代	備考	列品番号
1	色絵雉置物	五代清水六兵衛作	陶製	昭和時代・20世紀	第二復員局寄贈	G-4734
2	鶉香炉	津村亀女作	銅鑄造	江戸時代・18～19世紀		E-13803
3	鶏注口水注		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20686
4	鶏水滴		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20502
5	矮鶏水滴		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20503
6	軍鶏水滴		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20504
7	軍鶏水滴		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20505
8	鶏水滴		銅鑄造	江戸時代・18～19世紀	渡邊豊太郎・渡邊誠之氏寄贈	E-20506
9	松に雷鳥	勝川春章筆	中判	江戸時代・18世紀		A-10569-1392
10	銅孔雀文磬		銅鑄造	平安時代・12世紀	香取正彦氏寄贈	E-19975-2
11	金銅孔雀文磬		銅鑄造、鍍金	鎌倉時代・13世紀	内藤堯宝氏寄贈	E-19941
12	孔雀明王図（模本）	岡倉秋水模写	紙本着色	明治時代・19世紀 （原本：北宋時代・11世紀）	原本：京都・仁和寺藏	A-6174
13	孔雀明王像（模本）	横山大観模写	紙本着色	明治時代・19世紀 （原本：鎌倉時代・13世紀）	原本：京都・安楽寿院藏	A-6818
14	唐織 紅白段牡丹若松孔雀羽模様		絹製	江戸時代・18世紀	上杉家伝来	I-2033
15	色絵楼閣山水孔雀鈕大香炉	綿野吉二作	磁製	明治25年（1892）	シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局	G-693
16	刺繍孔雀図屏風	田中利七作	絹製、刺繍	明治26年（1893）		I-27
17	サロン（腰衣）赤藍地孔雀花束文様印金パティック	インドネシア、ジャワ	木綿製、ろうけつ染、印金	20世紀初頭		TI-349-8
18	金更紗 茜地花唐草孔雀文様	南インド	木綿製、手描染、印金	18世紀		TI-472
19	孔雀模様装飾断片	中国、ホータン	ストゥッコ、彩色	6～7世紀	大谷探検隊将来品	TC-504-2
20	石製孔雀蓮華文様蓋	パキスタン出土	片岩	5世紀頃		TJ-5726
21	色絵孔雀香合	京焼	陶製	江戸時代・18世紀		G-914
22	表着（模造）萌黄地小葵桐竹鳳凰模様二陪織物		絹製、二陪織物	昭和時代・20世紀 （原本：室町時代・15世紀）	原本：愛知・熱田神宮藏	I-1444
23	友禅染掛幅 桐鳳凰図		絹製、友禅染	江戸時代・19世紀		I-42
24	夜着 萌黄縮緬地鳳凰桐模様		絹製、友禅染	江戸時代・19世紀	野口彦兵衛旧蔵 野口真造氏寄贈	I-4031
25	白地花卉鳥獸文様緯絲	中国	緯絲（綴織）	明時代・16～17世紀		TI-150
26	博物館禽譜	帝室博物館編、関根雲停他筆	紙本着色	明治時代・19世紀		QA-957
27	単鳳環頭柄頭	茨城県境町八龍神塚古墳出土	鉄製	古墳時代・6世紀	鈴木音四郎氏外2名寄贈	J-5672
28	単鳳環頭柄頭	福岡県春日市日拝塚古墳出土	鉄製	古墳時代・6世紀		J-37425-11
29	鳳凰文磚	韓国扶余窺岩面出土	土製	三国時代（百済）・6～7世紀		TJ-4343
30	鳳凰刺繍断片		絹製、刺繍	中国・初唐または飛鳥～奈良時代・7～8世紀		I-369
31	白釉鉄絵鳳凰文扁壺	中国・磁州窯	陶製	元時代・13～14世紀	広田松繁氏寄贈	TG-2516
32	五彩龍鳳文大皿	中国・漳州窯	磁製	明時代・17世紀	横河民輔氏寄贈	TG-1289
33	色絵飛鳳文輪花大皿	伊万里	磁製	江戸時代・17世紀	山本富子氏・山本賢二氏寄贈	G-5751
34	染付楼閣鳳凰図大皿	伊万里	磁製	江戸時代・19世紀	平野耕輔氏寄贈	G-4429
35	染付線條鳳凰唐草文皿	伊万里	磁製	江戸時代・19世紀	平野耕輔氏寄贈	G-4591
36	本館鬼瓦 鳳凰			昭和時代・20世紀		
37	鳳凰置物	染谷知信作	銅鑄造	江戸時代・19世紀		E-12734

・本特集は、東京国立博物館、国立科学博物館、上野動物園の3館園による国際博物館の日記念イベント「上野の山でキジめぐり」の一環として企画したものである。
・図版の作品番号は、作品リストの番号と一致する。



親と子のギャラリー トーハクでパードウォッチング ―キジヤクジャク、鳳凰が勢ぞろい―

2017年4月25日発行

執筆：勝木言一郎・神辺知加・長谷川暢子、撮影：藤瀬雄輔・西川夏永 ほか（以上、東京国立博物館）／翻訳：東京国立博物館国際交流室／ロゴデザイン：RinRinPress 林紀江／デザイン・制作・印刷：精興社／編集：東京国立博物館出版企画室／発行：東京国立博物館 ©2017 東京国立博物館 Tokyo National Museum